

伐採、製材、建築を統合した産地直送体制を築き、 佐久間・水窪地域から首都圏市場を開拓。



産地直送体制の基盤となる製材工場

どんな事業をされていますか？

佐久間・水窪地域の製材所として1953年に創業。初代社長は、「地元だけでは販路が限られる」と判断し、1962年に東京都東村山市に東京販売所を開設し、首都圏に販路を開拓した。その後、東京販売所の周辺に天竜材を使った家づくりを推進するため、建築会社(株)丸清を設立。これにより、取扱量・売上が個人事業の規模を超えたことから、2002年に法人化し、製材、小売、建築が連動する事業体制を整えた。現在は、主に住宅用の構造材・造作材を製造しており、販売先は90%が首都圏向けで、産地直送を売りに東京支店(東京販売所:改称)から首都圏(東京・埼玉・神奈川)の工務店に、天竜材の販売を拡大している。



住宅一棟分の製材品を生産



品質向上に寄与する減圧乾燥機



地元の魅力を体感できるモデルハウス

事業の特長や強みは何ですか？

当社の強みは、天竜材の製造から住宅建築までを一貫して担う「産地直送体制」にある。天竜材を使った家づくりを求める首都圏の顧客に対して、製材工場から東京支店を通じて、産地や品質が確かな木材を顔の見える形で提供しており、生産者として信頼を得ている。また、首都圏の需要を直接把握できる体制は、建築需要が変動する時代において競争優位性があり、産地側が大きな市場の動きをリアルタイムで把握することで、製材工場で計画的な生産が可能となり、安定的な供給をすることができる。

東京支店では、天竜材を中心に据えつつ、適材適所で外国産材も扱うことで、顧客の要望に柔軟に対応し、取引を拡大している。また、注文住宅だけでなく分譲住宅も手がける建築部門のグループ会社である(株)丸清との連携が、首都圏の販売体制を強固にしている。梁や天井材などに天竜材を積極的に採用し年間40棟、約600㎡の製品を使用する(株)丸清の存在は、丸志木材(株)の計画的な生産を支える大きな基盤となっている。

代表的な製品、サービス、設備などは？

主力製品は、天竜材を使用した住宅用の構造材と造作材である。天竜材の美観等を活かした製品は、浜松市の工務店だけでなく、首都圏の工務店からも高い評価を得ている。設備は、減圧乾燥機が特徴的であり、減圧乾燥により、製材品の内部割れや色の変化を抑え、香りを保持することができるため、主に構造材の品質を向上させ、材の価値を高めている。また、2019年には、工場敷地内に天竜材を体感できるモデルハウスを設置し、東京のユーザーを招いた体験ツアーも実施。伐採現場の見学や職人体験など、産地の魅力を伝えるサービスも提供している。

今後の展望をお聞かせください。

「山から住宅まで」を一貫して担う体制を強化していく。今秋には、素材生産業を自社で開始し、森林所有者からの伐採の依頼に自社で対応する仕組みをつくる。製材業、小売業に加え、素材生産業も営むことで、「産地直送体制」の強化を図るとともに、素材生産の従業員を採用し雇用を創出することで、佐久間・水窪地域の活性化に貢献していきたい。また、浜松市と連携した「天竜イノベーションスクール」での林業講座などを通じ、地元の魅力を発信する取り組みも始める。首都圏への販路拡大は継続していくが、産地があつてこそその製材業であるため、今後も、当社と地域が共に発展していくための事業を展開していきたい。



天竜イノベーションスクールでの林業講座



佐久間・水窪地域から
木材産業の魅力を発信
したいと語る
川嶋和幸 取締役本部長

取材日: 令和8年6月17日

天竜木材産地協同組合 丸志木材株式会社

代表取締役 小川 隆文

静岡県浜松市天竜区佐久間町相月2684

TEL. 053-987-0262 FAX. 053-987-1256

Mail : info@marushimokuzai.co.jp

創業: 1953年7月 設立: 2002年12月

事業内容: 建築用木材の製造・販売

従業員数: 11人

年間売上高: 1億5,000万円(2025年度)

許認可等: 製材JAS認証工場(目視等級区分構造用製材)、
FSC-COC認証、しずおか優良木材認定工場

URL: <https://www.marushimokuzai.co.jp/>



天竜材を使った首都圏の住宅